



富士礼讃

—文学と味わう富士三十六景—

2022年2月17日(木) ▶ 5月8日(日) **入館無料**

日本一的美しさと名高い富士山は、古来より憧れとともに信仰の対象でもありました。数多くの絵師がその姿を描き、また人々は和歌や物語を通して賛美しつつ豊かなイメージを育んできました。

広重は、生涯のうち二度にわたり富士を題材としたシリーズに挑んでいます。一作目は、嘉永5年(1852)頃刊行された「不二三十六景」、二作目が安政5年(1858)に描かれ没後の翌6年に刊行された「富士三十六景」です。本展では、富士にまつわる説話や和歌など文学も合わせて紹介しつつ、広重の「富士三十六景」全揃いを一堂に展覽します。絵画と文学によって豊かに広がる富士の美しさをお楽しみください。

すべて歌川広重《富士三十六景》
安政5年(1858) 豎大判錦絵



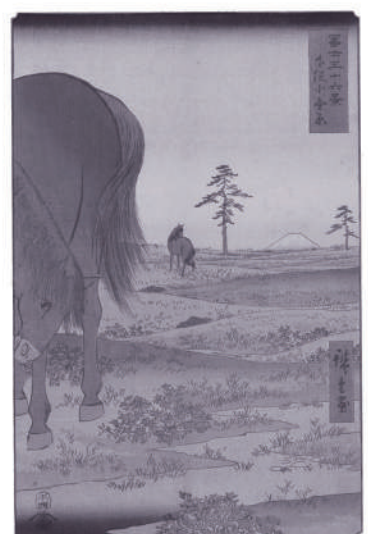
《武蔵野毛横はま》



《駿河薩タ之海上》



《信濃塩尻峠》



《下総小金原》

富士三十六景

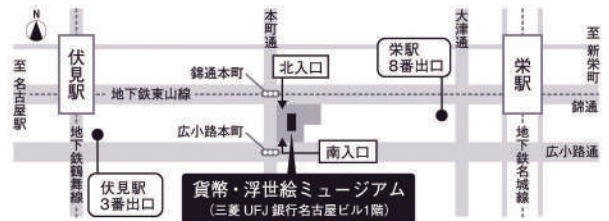
各地からの富士の眺めを描いた広重晩年の揃物で、江戸市中・関東一円に加えて信州諏訪湖や、伊勢の二見浦からの景までも含みます。全36枚揃いに、序文付きの目録が広重没後につけられ、版元・蔦屋吉蔵から安政6年(1859)に刊行されました。このシリーズは、縦絵の画風を基本とし、四季折々の富士の眺めを美しい色彩で描いています。



目録《名所三十六景》
安政6年6月

貨幣・浮世絵ミュージアム MONEY & UKIYO-E MUSEUM

- 開館時間 | 9:00~16:00 (入館は15:30まで)
- 休館日 | 祝日(2/23,3/21,4/29,5/3~5)
- 入館料 | 無料(団体見学の方は事前にご連絡ください。)
- 所在地 〒460-8660 名古屋市中区錦3-21-24 三菱UFJ銀行名古屋ビル1階
- TEL 052-300-8686
- ホームページ <https://www.bk.mufg.jp>



○ 交通案内

名古屋駅 から	地下鉄東山線 3分	伏見駅	3番出口から 徒歩約5分	貨幣・浮世絵 ミュージアム
	地下鉄東山線 5分		栄駅	

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

■ 入館の際は、「マスクの着用」「検温」「手指の消毒」にご協力ください。(マスクの着用をされていない方の入館をお断りさせていただく場合がございます。)
■ 混雑時は、入館を制限させていただく場合がございます。※催しの中止・延期・変更の可能性がありますのでご了承ください。